

鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第40号

2017.9.22 発行

畑中喜右衛門慰霊祭が行われました!!

～ 子吉川の河川改修に尽力を尽くした偉人の慰霊祭へ参列 ～

平成29年9月7日(木)に、由利本荘市吉沢にある畑中喜右衛門碑前にて慰霊祭が行われました。

畑中喜右衛門は、子吉川の洪水による河岸の洗掘を防ぐため、代官所に対して何度も河川改修の願い出を行いました。度重なる願い出に腹を立てた代官から憎まれ、農民扇動の罪で、万治元年(1658年)9月7日に打ち首にされました。

処刑される際に畑中は、「我なき後も靈魂はここにとどまり、必ず川の流れを変えるであろう」と遺言を残したと言われています。

慰霊祭は、毎年この日に行われており、今年度は、鳥海ダム工事事務所 太田調査設計課長をはじめ、秋田河川国道事務所 佐々木子吉川出張所長の他、県や市などからも参列してしめやかに行われました。

鳥海ダム工事事務所としても、子吉川の洪水から地域を守るため、早期に完成するよう頑張っていきたいと思えます。



▲「降神の儀」の状況



▲太田調査設計課長による「玉串奉奠」

流量観測の作業を体験しました!!



▲袖川発電所前では船に乗って観測！



▲百宅川では徒歩で川に入りました！

先日、流量観測の作業を体験しました！

流量観測とは、河川の形や流れる水の速さを計測し、河川の流量を算出する作業です。河川の管理やダム建設の際に必要な水文観測作業で、鳥海ダム工事事務所では毎年作業を委託しています。

川幅や水深が大きい袖川発電所前では船に乗って、また、水深の浅い百宅川では徒歩で川に入り、作業を行いました。途中雨に降られましたが、水深や流速の計測を行い、その場で流量を計算することができました。

流量観測の手順を実際に経験することができ、とても良い経験になりました！

(体験者:調査設計課 志田技官)

鳥海ダムの現場で働く業者さんの紹介!!

～ 地質調査業務 (その2) 応用地質(株) 東北支社 ～

応用地質株式会社 東北支社 宮本 浩二さん

私達の会社では、現在、鳥海ダム建設のための地質調査を行っています。地質調査では、ボーリングマシンと呼ばれる機械を使って、地下深くまで地盤を掘削し、試料を採取します。また、ボーリング孔を利用して地盤を調べるための計測や試験を行います。今回は、ボーリング調査の作業状況についてご紹介いたします。



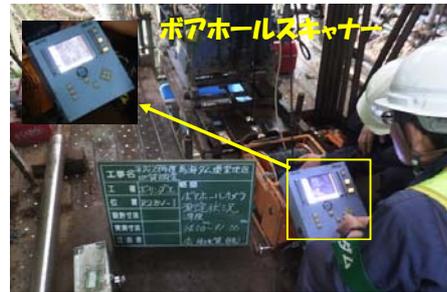
これがボーリングマシンです。
深さ100m近くまで掘って地質試料を採取できます。



毎朝、作業前に作業員全員で危険予知活動を行います。「今日も一日安全に！」



これがボーリングマシンで採取した試料(コア)です。
観察をする前に丁寧に手作業で洗浄します。
コアは地質技術者が詳細に観察します。



ボーリング調査に使う計測機器(その1)
【ポアホールスキャナー】ボーリング孔に特殊なカメラを挿入して地下状態を直接観察できる機器です。



ボーリング調査に使う計測機器(その2)
【ルジオン試験機】ボーリング孔内に水を送り、その時の流量や水圧の変化から、岩盤の水の通しやすさを調べることができます。



ボーリング調査に使う計測機器(その3)
【通称名:ハークス】ボーリング掘進中のビット(刃)の回転数や圧力、送水量等をセンサーで計測し、表示できる最新の機器です。
品質の高いボーリングコアを採取するために弊社で独自に開発しました。

編集後記

季節も9月の下旬となり、水田に目をやると、「稲穂」も黄金色になり、たわわに実っています。これから本格的な稲刈りのシーズンですね！
一年間の苦勞が、「収穫」という実となってみなさんにかえってきます。
忙しい時期になりますが、体調などに充分注意して頑張ってください。
鳥海ダム工事事務所職員も一日も早くダムが完成するよう一丸となって、皆さんに「安全・安心」という実を届けられるよう頑張っていきます。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

編集・発行 国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路32-1

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス thr-chokai01@mlit.go.jp